

はじめに…。

平成23（2011）年3月11日に起きた東日本大震災と福島第一原発の過酷事故から、今年3月で10年間の歳月が経ちました。

私は、3月27日（土）から29日（月）の2泊3日の日程で、福島県と宮城県の震災遺構や、原子力災害による避難指示が一部解除されていない福島第1原子力発電所近くの双葉郡富岡町を、自家用車で訪ねてきました。

そこで感じた気持ちや考えたことなどを、撮影した画像と一緒に紹介します。

初日（3月27日 土曜日）： JR石巻駅近くの市街地（宮城県石巻市）

①



街のあちこちに石ノ森章太郎
（石巻市出身のマンガ家）の
キャラクターが…仮面ライダー！

「津波襲来の地」の石碑と、今から
10年前の2011年3月11日の日付

②



③



「橋通り」は、旧北上川近く。
歩道には、今も津波の傷跡

④



電柱に、「3.11 津波 実績浸水深
2.0m」のプレート

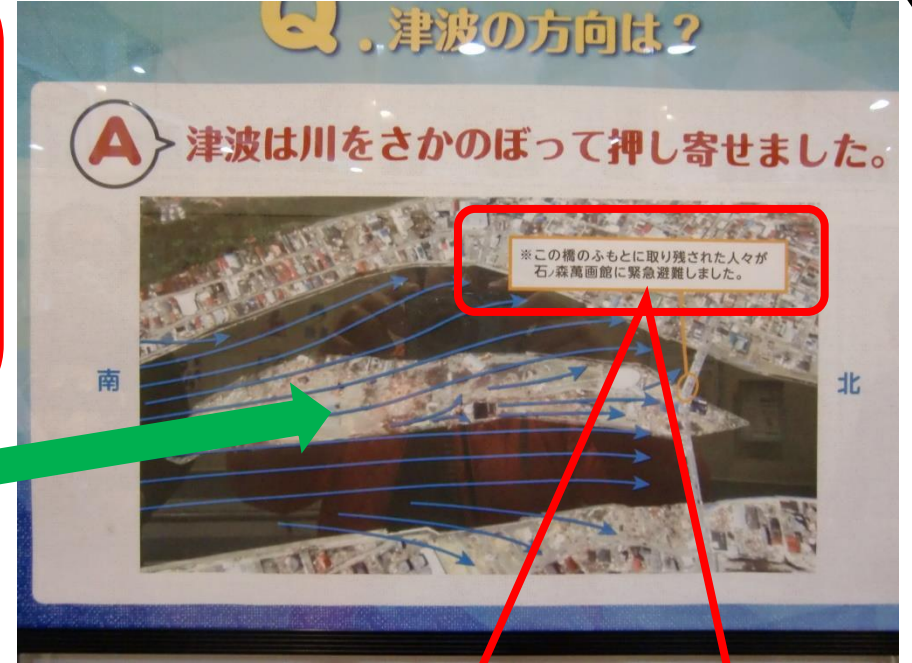
2日目（3月28日 日曜日）： 石ノ森萬画館（宮城県石巻市）①

①



石ノ森萬画館

②



「橋通り」の「橋」は、**石ノ森萬画館がある旧北上川にある中瀬地域**につながる橋のこと

津波は、海がある南から川をさかのぼって押し寄せた。「**この橋のふもとに取り残された人々が、石ノ森萬画館に緊急避難した**」

2日目（3月28日 日曜日）： 石ノ森萬画館（宮城県石巻市）②

①

Q. 地震発生時、館内に人はいたの？

A. 館内にはスタッフが10名、お客様は30名程。

石ノ森萬画館がある、石巻市の震度は6強。

地震が発生した時（2011年3月11日（金）14時46分）、館内にはスタッフが10名、お客様は30名程いらっしゃいましたが、すぐに避難誘導し、約10分後には全員屋外へ退避し、臨時閉館しました。

津波が石ノ森萬画館のある中瀬に到達したのは、地震発生から約1時間後でした。

地震発生が**14時46分**
→津波が萬画館に到達したのが
約1時間後の**15時46分前後**

②

Q. 津波の高さ、被害状況は？

A. 約6.5mほどの高さまで津波が押し寄せました。

※石ノ森萬画館の1階天井までの高さは8mです。

正面玄関のガラスが割れ、瓦礫やヘドロの流入により1階部分は壊滅的被害を受けました。

石ノ森萬画館の躯体、2階の展示物や3階は無事でしたが、空調機器の作動しない館内では、湿度温度の管理が難しく、収蔵していた約9万点の石ノ森先生の原画は、全て石森プロダクションへ返却しました。

（※現在も石ノ森先生の原画は全て石森プロが管理しています。）



▲津波によって破壊されたエントランスホール



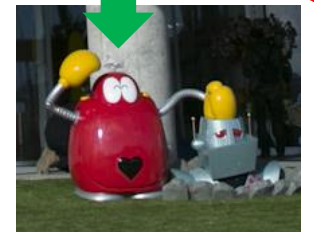
▲1階の正面玄関の前で津波到達地点を確認できます。



首が流された
ロボコン

③

首が戻った
ロボコン
（萬画館前）



2日目（3月28日 日曜日）： 石ノ森萬画館（宮城県石巻市）③

①



大きな津波が襲来…**最大6～7m**、**時速60～70km**とも言われ、大型の船や家屋なども流されました。
…**この小さな木造の教会堂が現地に残ったのは、まさに奇跡**と言えます。

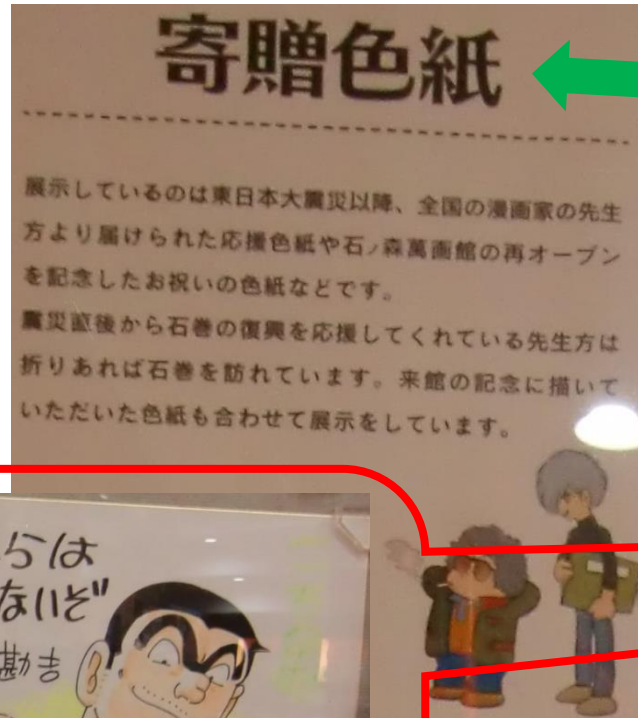
②



旧石巻ハリストス正教会堂

2日目 (3月28日 日曜日) : 石ノ森萬画館 (宮城県石巻市) ④

①



②



全国のマンガ家さん達からの**激励の「寄贈色紙」**。…「両さん」も！

2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）①

①



②



「石巻南浜に津波復興祈念公園オープン 式典は中止、津波伝承館の開館延期」

東日本大震災の津波と火災で多くの住民が犠牲になった石巻市南浜・門脇地区に国と宮城県、石巻市が整備した石巻南浜津波復興祈念公園が開園した。犠牲者追悼と震災伝承の場となる。

（河北新報オンラインニュースより）

2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）②



①

南浜地区（南浜町、門脇町および雲雀野町）は、
津波の襲来と火災延焼により、特に被災が大きかった。

震災前人口：4, 525名 1, 885世帯
→ 死者：389名 行方不明：150名

②



2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）③

①

旧門脇保育所 Former Kadonowaki Nursery School

< 震災当時の保育所長からコメントを頂きました >

門脇保育所は、四季折々の花が咲き、0歳児から5歳児の子どもたちの元気な声が響き渡る、みんなが仲良く遊ぶほのぼのとした保育所でした。

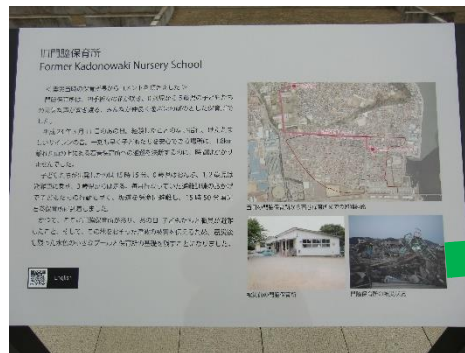
平成23年3月11日のあの日。経験したことのない揺れ、けたたましいサイレンの音。一刻も早く子どもたちを安心できる場所に、1.8km離れた山の上にある石巻保育所への避難を決断するのに、時間はかかりませんでした。

子どもたちが出発したのは15時15分。0歳児はおんぶ、1,2歳児は避難車に乗せ、3歳児からは走る。毎月行っていた避難訓練のおかげで子どもたちの行動も早く、坂道を懸命に避難し、15時50分頃に石巻保育所に到着しました。

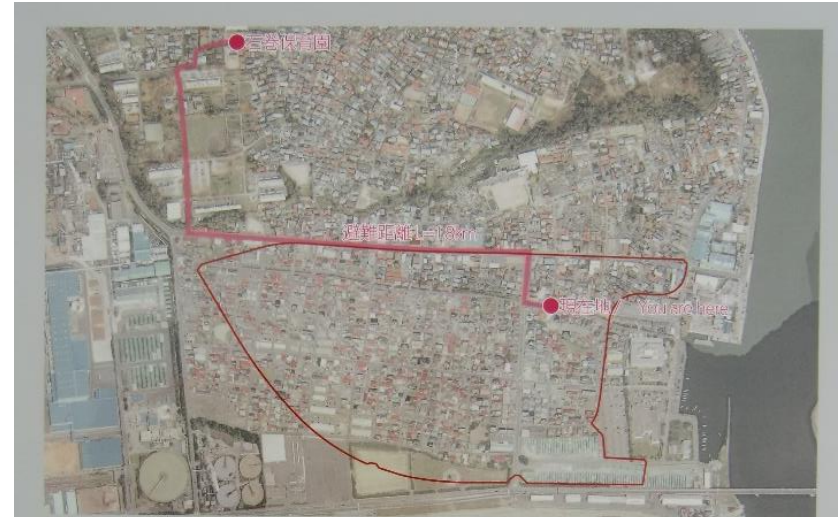
かつて、ここに門脇保育所があり、あの日子どもたちと職員が避難したこと、そして、この地をおそった津波の被害を伝えるため、震災後も残った水色の小さなプールと保育所の基礎を残すことになりました。

「子どもたちが出発したのは**15時15分**。
…**15時50分頃**に（高台の）保育所に到着」

地震発生**14時46分**
→津波到達は約1時間後の**15時46分前後**



②



当日の門脇保育所から石巻保育所までの避難経路



被災前の門脇保育所



門脇保育所の被災状況

2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）④

慰霊碑にて

①



②



震災の犠牲者数 ※令和3（2021）年1月末日現在
宮城県全域 11,784人（行方不明者・震災関連死を含む）
うち石巻市
市民 3,878人（行方不明者・震災関連死を含む）
市内で犠牲となられた市民以外の方 216人

夫婦でいらしていた40歳代くらいの女性が、
「ここに、〇〇さん所の〇〇ちゃんもおるわ」と
話されていたのが印象的でした。
10年という時間が流れたことを、実感したように
思いました。
「亡くなった人との交感（互いに感じ合う、
心が通じ合う）」について考えました。



2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）⑤

①



献花台のある「追悼の広場・祈りの場」と「1丁目の丘」

②



「1丁目の丘」の頂上には、同じ方向を眺めた震災前の写真パネルがありました。



「旧石巻市立病院より石巻市南浜地区（2009年）」

2日目（3月28日 日曜日）： 石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市）⑥



①「日本経済新聞」の記事で使われた写真に、私が写り込んでいました！



② この写真を撮影していました。「追悼の広場」の除幕式でした。



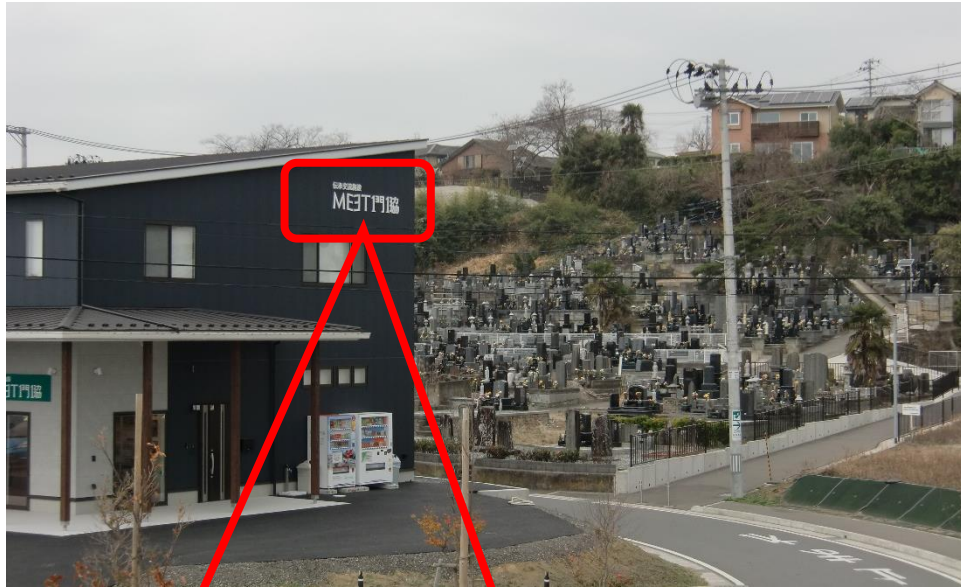
この後、テレビ仙台の記者の方から取材を受けて撮影もされました。

「どんな場所になるといいと思いますか？」という質問に、
「遺族の方が、亡くなった人と心を通わせて、背中を押してもらえそうな場所」と答えました。



2日目（3月28日 日曜日）： 震災伝承交流施設 MEET 門脇（宮城県石巻市）①

①



（サイト「3.11みらいポータル」より）

②



近くの門脇小学校（遺構として保存されることが決定）

たくさんの新しいお墓には、
「平成二十三年三月十一日」の日付

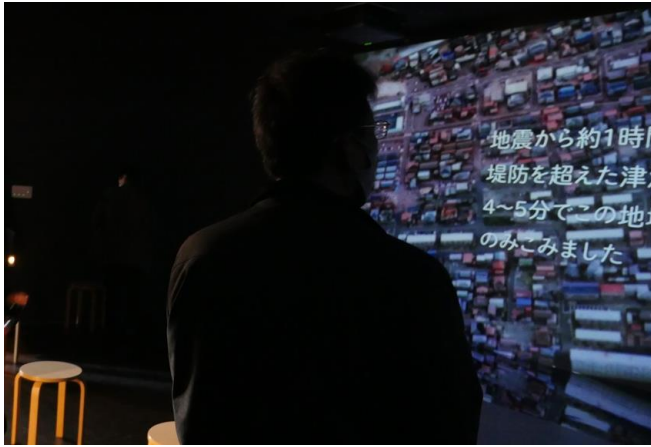
伝承交流施設

MEET 門脇

「3・11」の日付が含まれたロゴ。
「E」の字が向かい合っているのは、
震災の記憶を伝え合う人々の姿。

2日目（3月28日 日曜日）： 震災伝承交流施設 MEET 門脇（宮城県石巻市）②

①



②



③

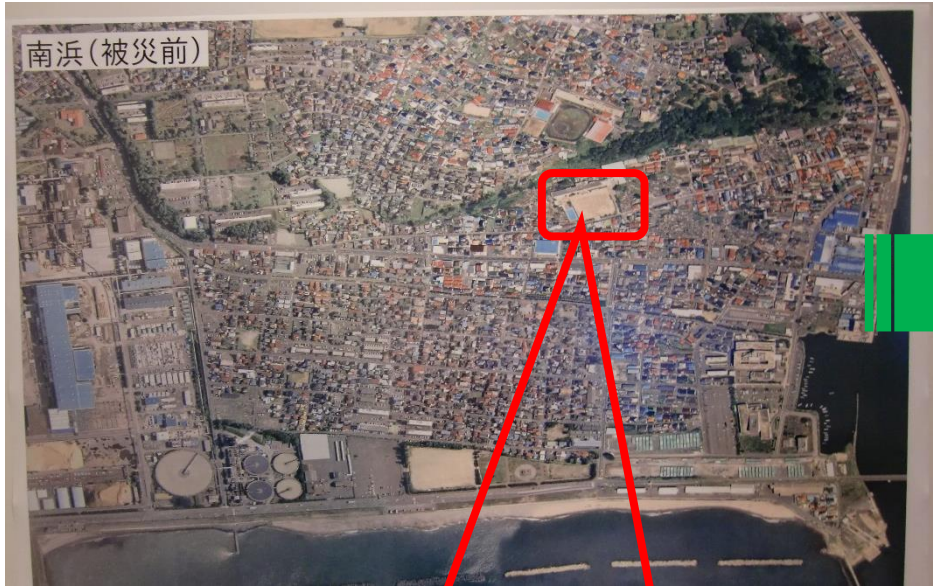


...シアタールームは2面投影で、...被災者の体験を可視化し、ご来館いただいた皆様がその場にいたような感覚でご覧いただける映像となっています。
(サト「3.11みらいポート」より)

私が見た映像は、佐藤美香さん（当時6歳。幼稚園の送迎バスが流されて亡くなった愛梨さんの母親）の体験談でした。 ※2013年の裁判で勝訴

2日目（3月28日 日曜日）： 震災伝承交流施設 MEET 門脇（宮城県石巻市）③

①



②



震災前の
門脇小学校

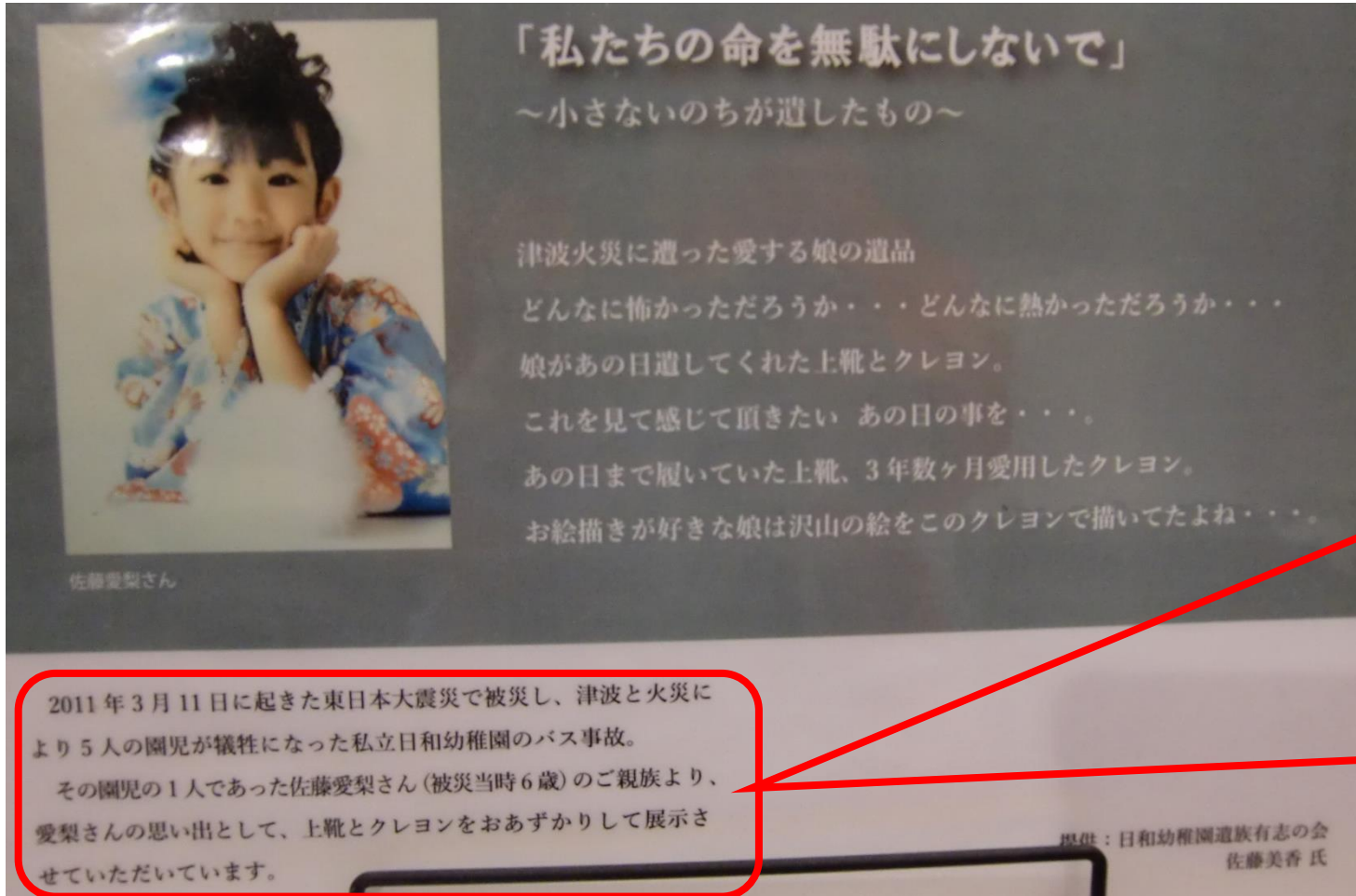
(サイト「フォトサ
あい」より)

震災当日、校内には240人の生徒が残っていたが、教師の誘導で裏山に避難した。津波の高さは6mを超えた。校庭に停めてあった保護者の車を含め、**多数の自動車が流された。やがて漏れ出したガソリンが引火して校舎は炎に包まれた（津波火災）**。津波と余震のために消火活動は出来ず、火災は3日間継続した。**震災では在校していた生徒は全員無事であったが、すでに下校していた生徒のうち7名が死亡した。**

(ウィキペディアより。一部改変)

2日目（3月28日 日曜日）： 震災伝承交流施設 MEET 門脇（宮城県石巻市）④

①



②



「園児の1人であった佐藤愛梨さんのご親族より、**思い出として、上靴とクレヨンをお預かりして展示**させていただいています。」

2日目 (3月28日 日曜日) : 震災伝承交流施設 MEET 門脇 (宮城県石巻市) ⑤

①



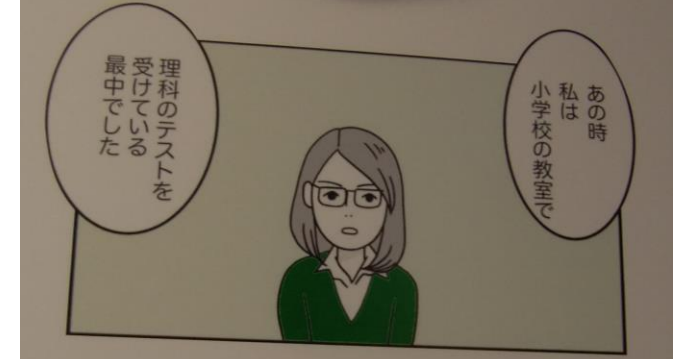
阿部 任さん

震災時は高校1年生。石巻市門脇町の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2人で2階にいたところ、家ごと流され9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけたしまったと後悔し経験を語っている。



「マンガが伝える力」に圧倒されました。セリフが書かれていない吹き出し→セリフがフェードイン。心にグサグサ刺さりました。特に、右の高橋さつきさんの体験…。生前の面影が無い母親の遺体が焼かれて、赤ちゃんの骨（骨盤にくっついていて）が見つかって初めて、「ああ、この人は私のお母さんだ！お母さん、妹と一緒に良かったね」

②



高橋さつきさん

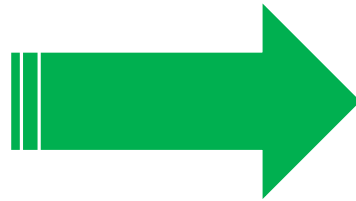
震災時の時は小学校4年生。震災で祖父、両親と母のお腹にいた妹を亡くす。あの日、地震の後に学校に来た両親が家に戻ることを止められなかったことを後悔し、「同じ思いを経験してほしくない」という思いで中学校3年生から語り部として活動している。

2日目（3月28日 日曜日）： 震災伝承交流施設 MEET 門脇（宮城県石巻市）⑥

①



②



津波により流出し、両腕が切断され両足が失われてしまった石巻市の「ご当地ヒーロー」の「シージェッター海斗」だが…。

今の石ノ森萬画館（正面）

※ロボコンも、ここにいます。

3日目（3月29日月曜日）： JR常磐線富岡駅（福島県双葉郡富岡町）①

①

区間	運賃
岩沼	1,690
館腰	1,690
達磨	1,690
浜吉田	1,520
巨理	1,520
山下	1,340
坂元	1,170
新地	990
胸ヶ嶺	990
相馬	990
日立木	860
鹿島	860
磐城太田	590
小高	510
桃内	510
浪江	420
大野	420
夜ノ森	330
双葉	330
富岡	240
木戸	200
電田	200
大野	190
双葉	190
原ノ町	680

②

原発事故に伴う避難の解除日程

- 浪江町: 3月4日
- 双葉町: 3月4日
- 大熊町: 3月5日
- 富岡町: 3月10日
- 夜ノ森: 3月14日

東京電力福島第1原発

東京電力福島第2原発

※かっこ内の日付は避難解除日

3月14日 運転再開

帰還困難区域の避難指示一部解除 (令和2年3月4日)

4日目の25日午前9時42分に、東京五輪の聖火リレーがここから開始。コロナ禍のため、1年延期になっていた。その後聖火は、震災と福島第一原子力発電所の事故で大きな被害を受けた広野町やいわき市、富岡町や双葉町などを巡り、午後5時12分、初日のゴール地点である南相馬市に到着した。

3日目（3月29日 月曜日）： JR常磐線富岡駅（福島県双葉郡富岡町）②

①



②



軽車両（自転車など）と歩行者は、高い線量の放射線を浴びやすいからです。

信号待ちのタイミングで、運転席から撮影した、国道6号線沿いの2つの看板。「3.11」から10年後の現在も、「帰還困難区域」で「通行止め」。

3日目（3月29日 月曜日）： JR常磐線富岡駅（福島県双葉郡富岡町）③

①



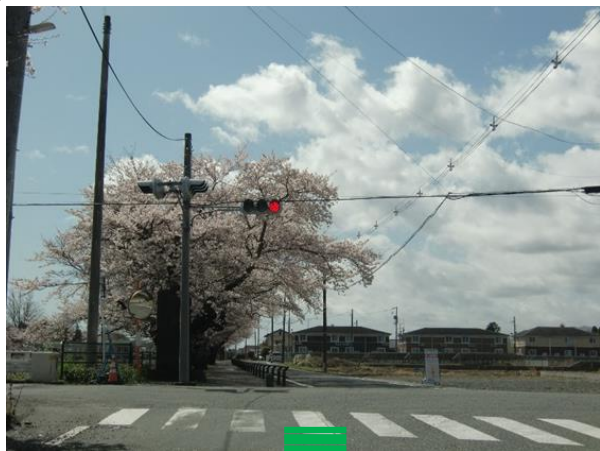
国道6号線を、ここで左折すれば
「桜のトンネル」で有名な、
JR常磐線夜ノ森（よのもり）駅に…。

ところがここも、
「帰還困難区域で通行止め」でした。

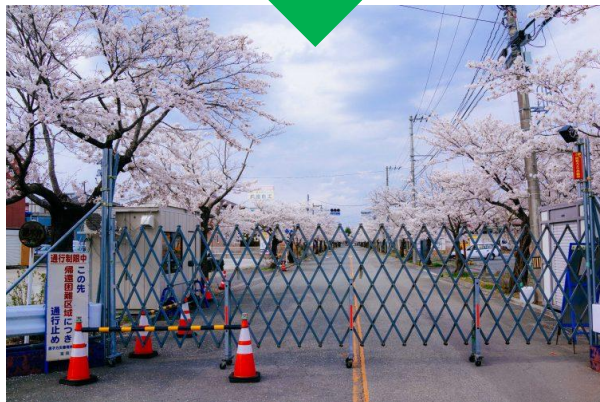
②



最後に…。



①



…それでも**左折可能な道**を見つけて、**国道6号線**から**西へ**向かい、夜ノ森（よのもり）駅の近くまで来た。

この信号を左に曲がると…？

やっぱり、通行止めでした。

②

悔しいので、震災前の写真を見ましょう！

（左の写真は、サイト「The little star dweller」、右の写真はサイト「旅東北」より）



③ 車の**フロントガラス**に桜の花びらが…



旅のおまけ
（短歌）

ひとひらの
こころの形
さくら花

飛んできたんだ
僕のもと